

令和2年12月定例会

# 気仙沼市教育委員会議案書

令和2年12月9日提出

# 目 次

(令和2年12月9日提出)

議案 番号	件 名	頁	備考
専決			
1	令和2年度気仙沼市一般会計教育費等11月補正予算案に対する意見について	1	
2	令和2年度気仙沼市一般会計教育費等12月補正予算案に対する意見について	8	
3	気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則制定について	15	

## ○教育長一般事務報告

(令和2年12月9日提出)

番号	件名	頁	備考
1	令和3年度学校給食の運営について	19	
2	第7回海洋教育子どもサミット in 気仙沼 (オンライン大会) について	20	
3	令和3年気仙沼市成人式の開催について	29	

## ○その他

- ① 次回教育委員会定例会の開催について  
1月 日 ( ) 時 分 教育委員会会議室

## 専決処分報告第1号

令和2年度気仙沼市一般会計教育費等11月補正予算案に  
対する意見について

このことについて、別紙のとおり専決処分したので報告する。

令和2年12月9日提出

気仙沼市教育委員会  
教育長 小山 淳

### 専決処分の理由

教育委員会を開催する時間的余裕がなかったため、気仙沼市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により専決処分したものである。

## 専 決 処 分 書

令和2年度気仙沼市一般会計教育費等11月補正予算案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、市長から意見を求められたので、異議のない旨意見を申し出ることを専決処分する。

令和2年11月25日

気仙沼市教育委員会  
教育長 小 山 淳

令和2年度 気仙沼市一般会計教育費等 11月補正予算

(単位：千円)

1 歳入

款 項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
13	分担金及び負担金		1,415		1,415	
2	負担金		1,415		1,415	
3	教育費負担金	1 独立行政法人日本スポーツ振興センター負担金	1,415		1,415	
14	使用料及び手数料		20,155		20,155	
1	使用料		20,155		20,155	
1	総務使用料	1 行政財産使用料	1,244		1,244	
7	教育使用料		18,911		18,911	
		1 幼稚園授業料	125		125	
		2 公民館使用料	1,683		1,683	
		3 市民会館使用料	7,500		7,500	
		4 はまなすの館使用料	1,000		1,000	
		5 社会体育施設使用料	8,603		8,603	
15	国庫支出金		1,533,347		1,533,347	
1	国庫負担金		138,426		138,426	
3	教育費国庫負担金	1 幼稚園費負担金	138,426		138,426	
2	国庫補助金		1,394,921		1,394,921	
1	総務費国庫補助金	1 総務管理費補助金	219,206		219,206	
7	教育費国庫補助金		215,407		215,407	
		1 修学支援費補助金	24,830		24,830	
		2 小中学校費補助金	182,340		182,340	
		3 幼稚園費補助金	6,737		6,737	
		4 文化財保護費補助金	1,500		1,500	

(単位：千円)

## 1 歳入

款	項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
	8	災害復旧費国庫補助金	3 文教施設災害復旧費補助金	960,308		960,308	
16	県支出金			211,261	△ 39	211,222	
	1	県負担金		69,213		69,213	
	4	教育費県負担金	1 幼稚園費負担金	69,213		69,213	
	2	県補助金		131,031	△ 39	130,992	
	3	衛生費県補助金	2 環境衛生費補助金	2,224		2,224	
	5	農林水産業費県補助金	1 農業費補助金	12,546		12,546	
	9	教育費県補助金		116,261	△ 39	116,222	
			1 小中学校費補助金	59,597	△ 39	59,558	みやぎ子どもの心のケアハウス運営 支援事業補助金 教育支援体制整備事業費補助金
			2 幼稚園費補助金	50,070		50,070	
			3 社会教育費補助金	6,594		6,594	
	3	県委託金		11,017		11,017	
	1	総務費県委託金	6 人権啓発活動委託金	134		134	
	4	教育費県委託金	1 教育費委託金	10,883		10,883	
17	財産収入			463		463	
	1	財産運用収入		463		463	
	1	財産貸付収入	2 建物貸付収入	447		447	
	2	利子及び配当金	1 利子及び配当金	16		16	
18	寄附金			1,000		1,000	
	1	寄附金		1,000		1,000	
	4	教育費寄附金	1 教育費寄附金	1,000		1,000	

1 歳入

(単位：千円)

款	項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
19	繰入金			30,420		30,420	
	1	基金繰入金		30,420		30,420	
		4 東日本大震災復興交付金事業基金繰入金	1 東日本大震災復興交付金事業基金繰入金	15,955		15,955	
		5 東日本大震災復興支援寄附基金繰入金	1 東日本大震災復興支援寄附基金繰入金	4,000		4,000	
		6 国際交流等推進事業基金繰入金	1 国際交流等推進事業基金繰入金	888		888	
		12 奨学資金貸付基金繰入金	1 奨学資金貸付基金繰入金	8,724		8,724	
		13 教育施設整備基金繰入金	1 教育施設整備基金繰入金	853		853	
21	諸収入			292,772		292,772	
	3	貸付金元利収入		8,361		8,361	
		14 奨学金償還金	1 奨学金償還金	8,361		8,361	
	5	雑入		284,411		284,411	
		1 雑入		284,411		284,411	
			1 社会教育文化事業収入	200		200	
			2 学校給食費	249,963		249,963	
			3 雑入	34,248		34,248	
22	市債			1,001,300		1,001,300	
	1	市債		1,001,300		1,001,300	
	8	教育債		1,001,300		1,001,300	
			1 学校教育施設整備事業債	80,000		80,000	
			2 社会教育施設整備事業債	844,300		844,300	
			3 過疎地域自立促進特別事業債	77,000		77,000	
			地方交付税等一般財源	2,480,778	△ 13	2,480,765	
			教育委員会所管歳入合計	5,572,911	△ 52	5,572,859	



(単位：千円)

## 2 歳出

款	項	目	補正前の額	補正額	計	内 容		金額
2	総務費		3,905		3,905			
	1	総務管理費	3,905		3,905			
		17 国際交流等推進事業費	888		888			
		21 諸費	3,017		3,017			
9	消防費		8,151		8,151			
	1	消防費	8,151		8,151			
		5 防災管理費	8,151		8,151			
10	教育費		3,728,957	△ 52	3,728,905			
	1	教育総務費	320,900	△ 52	320,848			
		1 教育委員会費	2,296		2,296			
		2 事務局費	223,019		223,019			
		3 教育研究指導奨励費	92,564	△ 52	92,512	学力向上・学習支援事業(補助)(会計年度任用職員人件費)		△ 52
		4 青少年育成支援センター費	3,021		3,021			
	2	小学校費	562,919		562,919			
		1 学校管理費	153,357		153,357			
		2 教育振興費	291,796		291,796			
		3 学校等設備整備費	117,766		117,766			
	3	中学校費	427,690		427,690			
		1 学校管理費	109,256		109,256			
		2 教育振興費	188,251		188,251			
		3 学校等設備整備費	130,183		130,183			

## 2 歳 出

(単位：千円)

款 項	目 目	補正前の額	補正額	計	内 容	
						金 額
4 幼稚園費		408,359		408,359		
	1 幼稚園費	408,359		408,359		
	5 社会教育費	1,090,458		1,090,458		
	1 社会教育総務費	11,919		11,919		
	2 公民館費	824,401		824,401		
	3 図書館費	49,943		49,943		
	4 文化財保護費	35,774		35,774		
5 文化振興費	5 文化振興費	102,695		102,695		
	6 市民会館費	36,043		36,043		
	7 はまなすの館費	29,683		29,683		
	6 保健体育費	918,631		918,631		
	1 保健体育総務費	248,929		248,929		
	2 学校施設開放事業費	11,148		11,148		
	3 総合体育館費	99,736		99,736		
11 災害復旧費	4 学校給食費	558,818		558,818		
		1,831,898		1,831,898		
	5 文教施設災害復旧費	1,831,898		1,831,898		
	1 文教施設災害復旧費	1,831,898		1,831,898		
教育委員会所管歳出合計		5,572,911	△ 52	5,572,859		

## 専決処分報告第2号

令和2年度気仙沼市一般会計教育費等12月補正予算案に  
対する意見について

このことについて、別紙のとおり専決処分したので報告する。

令和2年12月9日提出

気仙沼市教育委員会  
教育長 小山 淳

### 専決処分の理由

教育委員会を開催する時間的余裕がなかったため、気仙沼市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により専決処分したものである。

## 専 決 処 分 書

令和2年度気仙沼市一般会計教育費等12月補正予算案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、市長から意見を求められたので、異議のない旨意見を申し出ることを専決処分する。

令和2年11月26日

気仙沼市教育委員会  
教育長 小 山 淳

令和2年度 気仙沼市一般会計教育費等 12月補正予算

(単位：千円)

1 歳入

款	項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
13	分担金及び負担金			1,415		1,415	
2	負担金			1,415		1,415	
	3	教育費負担金	1 独立行政法人日本スポーツ振興センター負担金	1,415		1,415	
14	使用料及び手数料			20,155		20,155	
	1	使用料		20,155		20,155	
		1	総務使用料	1,244		1,244	
		7	教育使用料	18,911		18,911	
			1 幼稚園授業料	125		125	
			2 公民館使用料	1,683		1,683	
			3 市民会館使用料	7,500		7,500	
			4 はまなすの館使用料	1,000		1,000	
			5 社会体育施設使用料	8,603		8,603	
15	国庫支出金			1,533,347		1,533,347	
	1	国庫負担金		138,426		138,426	
		3	教育費国庫負担金	138,426		138,426	
			1 幼稚園費負担金				
2	国庫補助金			1,394,921		1,394,921	
		1	総務管理費補助金	219,206		219,206	
		7	教育費国庫補助金	215,407		215,407	
			1 修学支援費補助金	24,830		24,830	
			2 小中学校費補助金	182,340		182,340	
			3 幼稚園費補助金	6,737		6,737	
			4 文化財保護費補助金	1,500		1,500	

1 歳入

(単位：千円)

款	項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
		8 災害復旧費国庫補助金	3 文教施設災害復旧費補助金	960,308		960,308	
16	県支出金						
	1	県負担金		211,222		211,222	
	4	教育費県負担金	1 幼稚園費負担金	69,213		69,213	
	2	県補助金		130,992		130,992	
	3	衛生費県補助金	2 環境衛生費補助金	2,224		2,224	
	5	農林水産業費県補助金	1 農業費補助金	12,546		12,546	
	9	教育費県補助金		116,222		116,222	
			1 小中学校費補助金	59,558		59,558	
			2 幼稚園費補助金	50,070		50,070	
			3 社会教育費補助金	6,594		6,594	
	3	県委託金		11,017		11,017	
	1	総務費県委託金	6 人権啓発活動委託金	134		134	
	4	教育費県委託金	1 教育費委託金	10,883		10,883	
17	財産収入						
	1	財産運用収入		463		463	
			1 財産貸付収入	447		447	
			2 利子及び配当金	16		16	
18	寄附金						
	1	寄附金		1,000		1,000	
	4	教育費寄附金	1 教育費寄附金	1,000		1,000	

(単位：千円)

## 1 歳入

款	項	目	節	補正前の額	補正額	計	主要内容
19	繰入金			30,420		30,420	
	1	基金繰入金		30,420		30,420	
		4 万日本大震災復興交付金事業基金繰入金	1 東日本大震災復興交付金事業基金繰入金	15,955		15,955	
		5 東日本大震災復興支援寄附基金繰入金	1 東日本大震災復興支援寄附基金繰入金	4,000		4,000	
		6 国際交流等推進事業基金繰入金	1 国際交流等推進事業基金繰入金	888		888	
		12 奨学資金貸付基金繰入金	1 奨学資金貸付基金繰入金	8,724		8,724	
		13 教育施設整備基金繰入金	1 教育施設整備基金繰入金	853		853	
21	諸収入			292,772		292,772	
	3	貸付金元利収入		8,361		8,361	
		14 奨学金償還金	1 奨学金償還金	8,361		8,361	
	5	雑入		284,411		284,411	
			1 雑入	284,411		284,411	
			1 社会教育文化事業収入	200		200	
			2 学校給食費	249,963		249,963	
			3 雑入	34,248		34,248	
22	市債			1,001,300		1,001,300	
	1	市債		1,001,300		1,001,300	
		8 教育債		1,001,300		1,001,300	
			1 学校教育施設整備事業債	80,000		80,000	
			2 社会教育施設整備事業債	844,300		844,300	
			3 過疎地域自立促進特別事業債	77,000		77,000	
			地方交付税等一般財源	2,480,765	4,000	2,484,765	
			教育委員会所管歳入合計	5,572,859	4,000	5,576,859	

(単位：千円)

## 2 歳 出

款 項	目	補正前の額	補正額	計	内 容		金 額
2	総務費	3,905		3,905			
	1 総務管理費	3,905		3,905			
	17 国際交流等推進事業費	888		888			
	21 諸費	3,017		3,017			
9	消防費	8,151		8,151			
	1 消防費	8,151		8,151			
	5 防災管理費	8,151		8,151			
10	教育費	3,728,905	4,000	3,732,905			
	1 教育総務費	320,848		320,848			
	1 教育委員会費	2,296		2,296			
	2 事務局費	223,019		223,019			
	3 教育研究指導奨励費	92,512		92,512			
	4 青少年育成支援センター費	3,021		3,021			
	2 小学校費	562,919	2,200	565,119			
	1 学校管理費	153,357		153,357			
	2 教育振興費	291,796		291,796			
	3 学校等設備整備費	117,766	2,200	119,966	施設の維持管理に関する経費（修繕料）		2,200
	3 中学校費	427,690	1,800	429,490			
	1 学校管理費	109,256		109,256			
	2 教育振興費	188,251		188,251			
	3 学校等設備整備費	130,183	1,800	131,983	施設の維持管理に関する経費（修繕料）		1,800



(単位：千円)

款 項	目 目	補正前の額	補正額	計	内 容	
						金 額
2 歳 出	4 幼稚園費	408,359		408,359		
	1 幼稚園費	408,359		408,359		
	5 社会教育費	1,090,458		1,090,458		
	1 社会教育総務費	11,919		11,919		
	2 公民館費	824,401		824,401		
	3 図書館費	49,943		49,943		
	4 文化財保護費	35,774		35,774		
	5 文化振興費	102,695		102,695		
	6 市民会館費	36,043		36,043		
	7 はまなすの館費	29,683		29,683		
6 保健体育費		918,631		918,631		
1 保健体育総務費		248,929		248,929		
2 学校施設開放事業費		11,148		11,148		
3 総合体育館費		99,736		99,736		
4 学校給食費		558,818		558,818		
11 災害復旧費		1,831,898		1,831,898		
5 文教施設災害復旧費		1,831,898		1,831,898		
1 文教施設災害復旧費		1,831,898		1,831,898		
教育委員会所管歳出合計		5,572,859	4,000	5,576,859		

専決処分報告第3号

気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則  
制定について

このことについて、別紙のとおり専決処分したので報告する。

令和2年12月9日提出

気仙沼市教育委員会  
教育長 小山 淳

専決処分の理由

教育委員会を開催する時間的余裕がなかったため、気仙沼市教育委員会教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により専決処分したものである。

専 決 処 分 書

気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則について、  
別紙のとおり制定することを専決処分する。

令和 2 年 1 1 月 2 6 日

気仙沼市教育委員会  
教育長 小 山 淳

## 気仙沼市教育委員会規則第13号

### 気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則

#### 気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則

気仙沼市立学校の管理に関する規則（平成18年気仙沼市教育委員会規則第17号）の一部を次のように改正する。

附則に次の1項を加える。

（令和2年度における冬季休業日の特例）

- 6 令和2年度における学校の冬季休業日は、第3条第1項第5号の規定にかかわらず、12月26日から翌年1月7日までとする。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

資料

気仙沼市立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則新旧対照表

改正後	改正前
<p>附 則 1～5 略 <u>(令和2年度における冬季休業日の特例)</u> 6 <u>令和2年度における学校の冬季休業日は、第3条第1項第5号の規定にかかわらず、12月26日から翌年1月7日までとする。</u></p>	<p>附 則 1～5 略  (新設)</p>

## 令和3年度学校給食の運営について

令和2年11月18日（水）に気仙沼中央公民館会議室において開催された，気仙沼市学校給食運営審議委員会に諮問した結果，原案のと通りの答申を受け，下記のとおり決定しました。

### 記

#### 1 令和3年度学校給食の実施回数について

	令和3年度	令和2年度	前年度比較
小・中学校 完全・補食給食	190回	190回	+0回

#### 2 令和3年度学校給食費の額について

##### 一食単価

		令和3年度	令和2年度	前年度比較
小学校	完全給食	282円	282円	+0円
	補食給食	230円	230円	+0円
中学校	完全給食	345円	345円	+0円
	補食給食	275円	275円	+0円

##### 年 額【190回の場合】※給食費については，一食単価×実施回数

		令和3年度	令和2年度	前年度比較	前年度比
小学校	完全給食	53,580円	53,580円	+0円	+0.00%
	補食給食	43,700円	43,700円	+0円	+0.00%
中学校	完全給食	65,550円	65,550円	+0円	+0.00%
	補食給食	52,250円	52,250円	+0円	+0.00%

※ 完全給食：パン又は米飯（小麦粉食品等を含む。），ミルク及びおかずの給食

※ 補食給食：ミルク及びおかずの給食

## 第7回 海洋教育こどもサミット in 気仙沼（オンライン大会）について

### 開催要項

海に学び、海と生きる  
～海と自分たちとのつながりを考える～

#### 1 目的

「海洋教育」は、海と人との共生を実現させるために、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習を推進します。「第7回海洋教育こどもサミット」では、東北各地で行われている実践や研究を児童生徒が紹介し合い、意見交換や交流をすることで、地域理解や相互理解を深め、海洋教育への意欲と学びの質の向上につながる海洋リテラシーを育むために開催します。

2 期 日 令和2年11月27日（金） 13:10～16:55

3 会 場 各校 ※参加校は全てオンラインによる参加

4 主 催 宮城県気仙沼市教育委員会 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター  
公益財団法人日本財団

5 共 催 岩手県洋野町教育委員会 福島県只見町教育委員会 気仙沼ESD/RCE推進委員会

6 後 援 文部科学省

7 協 力 東京海洋大学三陸サテライト

8 参加校

- ・気仙沼市：（唐桑幼稚園）、（大谷幼稚園）、（小泉幼稚園）  
鹿折小学校、階上小学校、面瀬小学校、唐桑小学校、中井小学校、  
小泉小学校、気仙沼小学校、大谷小学校、大島小学校、（松岩小学校）、  
唐桑中学校、大谷中学校、大島中学校、面瀬中学校、階上中学校
- ・洋野町： 大野小学校、林郷小学校、向田小学校、角浜小学校、宿戸小学校、  
帯島小学校、中野小学校、種市小学校  
種市中学校、中野中学校、（大野中学校）
- ・只見町： 朝日小学校、（只見小学校）  
只見中学校
- ・高等学校： 宮城県気仙沼高校、宮城県気仙沼向洋高校、山形県加茂水産高校、  
※（ ）校は視聴のみ。 ※発表代表（各校4名程度）

9 オンライン使用アプリ web 会議ツール（発表用：Zoom 視聴用：YouTube）

10 日 程

【開会行事】13:10～13:20 ※ 全ての参加校をジョイント

① 開会宣言	進行（宮城県気仙沼高校 生徒）
② 児童生徒代表あいさつ	宮城県気仙沼市立唐桑小学校 児童
③ 教育長あいさつ	気仙沼市教育委員会教育長
④ 日程及び課題の共有	進行（宮城県気仙沼高校 生徒）

【共通の学び（本日の学びの導入）】13:20～13:40 ※ 全ての参加校をジョイント  
実践事例発表 鹿折小学校（千田康太教諭）、大谷中学校（工藤孝幸教諭）

【実践発表・学びの交流】 13:45～15:25 ※ グループ内でオンライン交流

《オンライングループ編成（4または5校で1webグループ）》

- 小学校第1グループ 5校 鹿折小, 朝日小, 中井小, 中野小, 大野小  
小学校第2グループ 5校 階上小, 角浜小, 小泉小, 大島小 種市小  
小学校第3グループ 4校 面瀬小, 向田小, 気仙沼小, 宿戸小  
小学校第4グループ 4校 唐桑小, 林郷小, 大谷小, 帯島小  
※ (松岩小・只見小) → 関心ある発表テーマのグループに分かれて視聴
- 中学校第1グループ 4校 唐桑中, 種市中, 面瀬中, 階上中,  
中学校第2グループ 4校 大谷中, 只見中, 大島中, 中野中  
※ (大野中) → 関心ある発表テーマのグループに分かれて視聴
- 高校グループ 3校 気仙沼高校, 気仙沼向洋高校, 加茂水産高校

【学びの深め合い・交流】 15:35～16:35 ※ グループ内でオンライン交流

- ① 全体説明
- ② グループで学びの振り返り（感想・主張など）
- ③ テーマ「海と自分とのつながり」について、ア、イの視点から意見を出し合い、学びを深める  
ア 「海はどのような役割を担っているか。それらの役割は、今どのような状況になっているか」  
イ 「自分たちとはどのようなつながりがあるのか。自分（たち）は何をするのか（できるのか）」
- ④ 学びの整理・価値の共有  
(各グループ代表：全7名による全体へのオンライン報告・共有)

※ 全ての参加校をジョイント

【振り返りのことば】 16:40～16:45

※ 全ての参加校をジョイント

東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター長 田中 智志 氏

【閉会行事】 16:45～16:55

※ 全ての参加校をジョイント

- ① 閉会宣言 進行（宮城県気仙沼向洋高校 生徒）
- ② 児童生徒代表あいさつ 岩手県洋野町立中野中学校 生徒
- ③ 閉会のことば 宮城県気仙沼市立面瀬中学校 生徒
- ④ 閉会宣言 進行（宮城県気仙沼向洋高校 生徒）



**小学校第1グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育子どもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立鹿折小学校**

発表者氏名	西條 璃子、岸 明衣子、菅原 創、吉田 慧巨
タイトル	海と生きる気仙沼の魅力発信プロジェクト
発表の概要	気仙沼市は地形や潮目等の特色を生かした漁業の盛んな町である。魚市場の近くには、カツオやフカヒレを加工する工場に加え、造船所が立ち並ぶなど、世界に誇る水産都市の町といえる。児童は2年間の探究活動を通して「海と生きる町・気仙沼」を「国際・環境・産業・文化」の視点から学びより良いまちづくりについて考え行動に移している。地域の課題とグローバルな課題をつなぎ、広い視野で「海との共生」を目指す。
発表の仕方	パワーポイントとポスターを併せた発表

**只見町立朝日小学校**

発表者氏名	五十嵐 蓮、渡部 仁奈、馬場 由麻
タイトル	只見町の未来に向けて自分たちができることを提案しよう
発表の概要	朝日小学校では、「災害対策」をテーマに、只見町の良さや課題について、町役場に取材する活動を進めました。そして南相馬市にも取材をし、共通点・相異点をまとめました。まとめる中で「昔に比べて雨量が多くなり、川が氾濫してしまった。どうして雨量が増えているのかな。」という問いが子供から生まれ、追究活動を進めました。これまで取材・追究したことをふまえ、持続可能な只見町の発展のために、子供たちが提案をします。
発表の仕方	パワーポイント

**気仙沼市立中井小学校**

発表者氏名	千葉 蒼巳、鈴木 友悳
タイトル	海から学んだこと
発表の概要	身近にある海を学習の切り口にして、森と海のつながりや豊かな海について考える。また、海と生きる人々の努力や思い、そこに根付く文化等について分かったこと等を発表する。
発表の仕方	パワーポイントによる資料の提示、発表

**洋野町立中野小学校**

発表者氏名	岩脇 瑠菜、加藤 琥白、桜庭 真奈、中村 心響、畑田 晃汰
タイトル	洋野のウニが危ない～洋野の宝と恵を守るためにできること～
発表の概要	中野小学校では、1・2年生の「生活科」で海に親しむ活動を行い、3～6年生の「海洋科」でさらに海に親しみ、海を知る活動を行い、海を守るためにどうすればよいのか考える学習を行います。また、高学年は、夏休みと冬休みに、海に関わることをテーマとし、海洋科自由研究を行い、1年中海に関する学習を行っています。中野小学校の6年生は、5年生時に、洋野町のウニのすごさについて学び、本州一のウニの漁獲量であることや洋野町の特産品として知られるウニに誇りと愛情をもっています。そんなウニですが実は抱える問題が……。その問題を解決するためにできることをみなさんへ提案します。
発表の仕方	パワーポイントを使い、子どもたちが発表する。

**岩手県洋野町立大野小学校**

発表者氏名	5年生児童 未定
タイトル	一人一芸の里に生まれて
発表の概要	『「一人一芸の里」って何?』大野の町にある看板を見て疑問に思った。「一人一芸の里」を調べていくと、大野とやませには深いかわりがあることに気づいた。大野はやませの冷害による被害を受けている。そのため、作物が育たず、出稼ぎに行ってしまう人が増えた。また、1980年代は大冷害と言われる大野の危機が訪れた。それを乗り越えるために、やませに負けない作物を作り育てたり、農業以外の仕事を見つけたりと自分たちにできることを探した。海とともに生きていくために、一人一人の知恵と努力で乗り越えてきたのが大野の「一人一芸の里」だ。
発表の仕方	プレゼンテーションでの発表の予定

**小学校第2グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立階上小学校**

発表者氏名	村上 斗真 (むらかみとうま)、芳賀 世剛 (はがせいご)、大友 歩夢 (おおともあむ)、角野 紗也 (かどのさや)
タイトル	豊かな海・気仙沼 ～見つめよう、考えよう、気仙沼の水産業～
発表の概要	豊かな海・気仙沼を、水産資源や働く人々、自然環境等について、体験したことや教えてもらったこと、調べて分かったことを発表する。また、海の豊かさを未来へつなげるために、今の自分たちにできることを考え、実践していることについて報告する。
発表の仕方	プレゼンテーションによる発表 (フリップ、実物等提示用資料も含む)

**洋野町立角浜小学校**

発表者氏名	川口美空、山下美生、鶴嶋桜我、高崎裕生
タイトル	海のごみの行方 ～角浜から世界へ～
発表の概要	①角浜の海岸及び海中のごみについて ②海洋全体のごみについて ③プラスチックごみについて ④ごみを食べた魚を人間が食べた際の害について 地元の海である角浜のごみの調査を行うことで、海全体に目を向け、世界の海のごみの調査、プラスチックごみについて、海のごみが人間に及ぼす影響について調べる。
発表の仕方	模造紙

**気仙沼市立小泉小学校**

発表者氏名	小野寺美空 (5年)、及川来瑠未 (5年)、及川 桜弥 (5年)、廣藤 悠斗 (5年)
タイトル	小泉の海から
発表の概要	近くに暮らしていながらもしっかりと向き合う機会が少なかった「海」。5年生児童が地域で行われているワカメ養殖体験に参加することをきっかけに、その「海」について学んだことや改めて考えたことを発表する。学校行事「海に親しむつどい」や全校遠足などの経験を振り返りながら、海の恵みや自然の雄大さ、現在直面している様々な問題へ目を向け、未来に向けて自分たちにできることなどを広く発信していきたい。
発表の仕方	パワーポイント

**気仙沼市立大島小学校**

発表者氏名	菊田 颯太、菊田 結衣、小松 乃彩、千葉 日和
タイトル	大島の海と生きる
発表の概要	本校では総合的な学習の時間を中心に、4年生はワカメ、5年生はカキ、6年生はホタテの養殖体験を行い、それをもとに各学年で課題を設定して探究活動を行っている。本校の6年生は、ホタテの養殖体験を通して、感じたことや興味をもったことから課題を設定し、近年の海の変化や、ホタテの養殖の持続可能性について、調べ考えたことを中心に発表を行う。
発表の仕方	パワーポイントでの電子データをもとにした発表

**洋野町立種市小学校**

発表者氏名	小林 海、小橋 瑛太、澤口 心那、藏谷 葵
タイトル	種市の未来の町づくり
発表の概要	自分たちの町の課題だと思うこと、現在町づくりに尽力している方から学んだことなどをもとに、未来の町のイメージ(どんな町にしたいか)を考え、「海を守り、海を生かしながら人々がつながることができる町づくり」について提案します。
発表の仕方	パワーポイント

**小学校第3グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立面瀬小学校**

発表者氏名	吉田 美華、菅沼 来希、畠山 悠生、齋藤 心美
タイトル	ふるさと気仙沼の海 一ごみの危機から海を守ろうー
発表の概要	面瀬小学校では、3・4学年で面瀬川の生き物や環境について学び、森里海に囲まれた豊かな環境であることや、その物質的なつながりについて学習してきました。また、5学年では体験学習を通して気仙沼の海の豊かさを実感するとともに、漂着したプラスチックごみが散乱している現状にも気付きました。これからも豊かな気仙沼の海であり続けるために児童が考えたプラスチックごみ削減の方策について発表します。
発表の仕方	パワーポイントを使用する。

**洋野町立向田小学校**

発表者氏名	太内田 佳乃、柏木 涼昊、太内田 颯汰、三本木 結愛、太内田 龍空、萬谷 綾香
タイトル	森は海の恋人 ～有家川の「フェルム」を見つけ出そう～
発表の概要	昨年度は、洋野町の海には久慈平岳に源流がある有家川から水が流れており、その水には海藻や魚たちにとって重要な栄養素である鉄分（フェルム）がフルボ酸と結合した状態で流れていることが分かった。今年、バックテストを用いて有家川に流れる鉄分を測定し、実際に鉄分が流れていることを確かめた。また、雨が降った後に鉄分量が増えたことから、雨が降ることで山からより多くの鉄分が流れ出すと考えた。
発表の仕方	パワーポイント

**気仙沼市立気仙沼小学校**

発表者氏名	泉 隼太郎、齊藤 優人、小山 末紗、熊谷 玲音
タイトル	気仙沼復興プロジェクト わたしたちの町 未来の気仙沼
発表の概要	気仙沼市は、サメの水揚げ日本一、高級フカヒレの産地として全国的に知られています。また、豊かな自然やリアス海岸を利用した観光も発展しています。その気仙沼の魅力を発信して集客数を増やすために、サメの皮や歯などを商品化して販売している「シャークス」というお店と「大島汽船株式会社」が運航している観光船の良さや働いている方の思いについて発表します。
発表の仕方	パワーポイントを使用

**洋野町立宿戸小学校**

発表者氏名	岡本 倅生、鹿糠 彩音、坂下 優衣、吹切 航汰
タイトル	海は世界とつながっている
発表の概要	現在、世界で起きている海洋環境に関する問題について、本から学んだこと、及び、中でも特に興味を持った海洋ごみ問題に関して、自分たちの地域の現状と、自分たちのえがく町の未来に近づくためにできることや地域への提案などについて、映像を交えながら発表する。
発表の仕方	パワーポイント使用またはポスター撮影

**小学校第4グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立唐桑小学校**

発表者氏名	小野寺 真波、鈴木 昊将、岩間 成美
タイトル	再発見！ぼくらの舞根川
発表の概要	今までカキ養殖体験やサケの回遊、植樹活動などの学習を通して、森・川・海とのつながり、地元唐桑の海の豊かさを学んできた。これらの学びを振り返り、自分たちが住む唐桑にある舞根川を見つめ直し、探究することで、舞根川のすばらしさを再発見し、そのよさを発信したい。そして、舞根川の環境、ひいては唐桑の海の豊かさを守り続けるために何ができるのかを考え、行動していくことを提案する。
発表の仕方	フリップを使い、探究の成果を口頭で発表する。

**洋野町立林郷小学校**

発表者氏名	関向 翔太、南 優翔、林郷 呂菜、関向 心優
タイトル	大野の酪農と海洋のかかわり
発表の概要	大野の大地は、海成段丘で形成されていて険しい山がなく、なだらかな土地が続いています。林郷小学校のある林郷地区は大野の中でも特に酪農の盛んな地区です。子どもたちは酪農の盛んなふるさとに誇りをもっています。ただ、今の状態を守るには林郷の自然だけでなく、海を大切にすることも大事であることを学びました。海の与える影響がどのようなものか、自分たちが林郷の良さを守るためにできることは何かを考え発表します。
発表の仕方	ポスター撮影

**気仙沼市立大谷小学校**

発表者氏名	大原 里桜、渡邊 櫻子、平塚 創士、佐々木 慧
タイトル	探ろうふるさと・考えよう大谷の未来～海とともに～
発表の概要	自分たちが生まれ育った大谷の自然、産業、文化について、これまでの体験や講話、学習の中から知り得た大谷の魅力や課題をもとに、ふるさとのまち・大谷のより良い未来を描き、提案する。観点としては、①環境、②自然、③観光、④防災の4つを挙げ、それぞれの観点到応じた未来のまちづくりの構想を発表する。
発表の仕方	ポスター・写真等を使用する。（黒板に掲示しながら発表するか、紙芝居のように小さい資料を使った発表にするかは検討中。）

**洋野町立帯島小学校**

発表者氏名	林上 賢伸、長谷川 凛、間澤 芽依、北村 夢乃
タイトル	海につながる森林のめぐみ
発表の概要	帯島小学校では毎年、5・6年児童が森林学習や源流体験を通して身近な自然にふれ、地域の環境保全に努めています。森を守る活動は海にどんな影響を及ぼすのか、体験学習や調べ学習を通して学んだことを発表します。具体的には、森や海の酸素や二酸化炭素の吸収・排出、山の土壌がもたらすフルボ酸の役割、そして「豊かな森は豊かな海を育む」と言われる理由や海の資源を守るため自分たちにできることについて紹介する予定です。
発表の仕方	画用紙、模造紙にまとめた資料を口頭で発表（ホワイトボードに掲示したり、画用紙を手にして説明したりする予定）

**中学校第1グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立唐桑中学校**

発表者氏名	3年生(未定)
タイトル	海のまち『唐桑』の未来を考える
発表の概要	唐桑の海と自分たちの生活との関わりについて調査し、現状を見つめ抱えている課題を見つける中で自分たちにできることを模索しながら探究活動に取り組んでいる。地元の漁港を訪問したり、地域の方を講師に招いたりしたことで発見できたことが多くある。その中で、海に浮かぶごみと環境問題について調査したことを中心に発表したい。
発表の仕方	パワーポイント使用での発表予定

**洋野町立種市中学校**

発表者氏名	苧坪 愛梨、梅澤 華恋、沖澤 愛生、原子内 未来、館野 陶子、北野澤 李央
タイトル	ウニを育てる町、洋野町
発表の概要	洋野町の特産物であるウニについて ・洋野のウニはなぜおいしいのか ・ウニの生態について ・栽培漁業センターの役割 ・ウニを育てる森 ・本校で行った漁業体験の紹介 ・ウニの魅力を発信 等、洋野町でのウニを中心とした「海と人との共生」について、調査したことや体験したことをもとに発表予定。
発表の仕方	ポスター撮影等

**気仙沼市立面瀬中学校**

発表者氏名	小山 巧、清水 彩葵、小野寺 紀香、菅原 菜々子
タイトル	気仙沼の魅力発信プロジェクト ～いいとこいっぱい！見でみらいん♪～
発表の概要	すばらしい自然や美味しい食べ物に恵まれた気仙沼市の良さを多くの人たちに知ってもらうことで、観光客や移住者が増え、気仙沼市の発展に貢献することができるのではないかと考えた。インタビューや施設訪問を行い幅広い年齢層の人たちに理解してもらえそうなPR動画を作成し、インターネットを活用して発信していきたい。それを目にするだけで、気仙沼に足を運んでくれるのか。変容を確かめることで課題の解決に迫っていきたい。
発表の仕方	パワーポイントを使って発表する。

**気仙沼市立階上中学校**

発表者氏名	阿部 蓮(3年)、小松 心咲(3年)、熊谷 花音(2年)、佐藤 優輝(2年)
タイトル	津波災害への備え・教訓から自分の将来、地域・社会とのつながりについて考える
発表の概要	東日本大震災当時の様子についての調査(聞き取り、フィールドワーク等)結果を「自助・共助」の2つの視点から振り返り、「防災・減災」に関する備えや教訓としての学びを発表する。また、災害の風化を防ぐため、災害のメカニズムや地域の実態を知り、「自分の身を守るためにできることは何か」、「災害に強い地域づくりに必要なことは何か」、「地域の一員として協力できること何か」等について発信する具体を発表する。
発表の仕方	ポスター発表

**中学校第2グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**気仙沼市立大谷中学校**

発表者氏名	及川 舞、小野寺 杏太、佐野 遙、畠山 薫
タイトル	海と共に生きる大谷が元気になるプロジェクト
発表の概要	地域、自然を活用した様々な活動を通して、大谷の海から地域のよさを知り、「海と生きる大谷地区が元気になるため」のプロジェクトを提案し、行動する活動を実施します。そのために、地域企業の方や研究者の方々に講師になっていただき、海藻養殖、磯焼け、ウニの畜養、地球温暖化と養殖、貝毒と大谷の養殖、大谷道の駅での地元のPR活動などの探究的な学習を目指しています。それらの活動・学習を通し、自分たちの生きる地域の魅力について知り、地域に対する愛着を深めようと考えています。
発表の仕方	パワーポイントを用いて発表を行う。

**只見町立只見中学校**

発表者氏名	山本 愛佳、酒井 怜斗、三瓶 創大、目黒 元基、酒井 駿
タイトル	町の人と私たちの海を守る
発表の概要	只見中学校発信で新聞紙レジ袋を作り町に広め、海洋プラゴミ削減に努めてきた。町内の人々はもとより県内外の人から賞賛されてきた。町教育委員会にも協力してもらい、町全体の取組になった。これを通じて中学生が町の人と協力・活動をともにすることで、地球環境の改善と町民と中学生の結(ゆい)を強いものとした。
発表の仕方	PPTとオンラインカメラで発表したい。

**気仙沼市立大島中学校**

発表者氏名	新妻 千里、渡部 愛乃、小松 優、伊藤 心晴、村上 一善
タイトル	30年後の大島に伝えたいこと
発表の概要	今年度取り組んだ海洋学習の内容についての発表 テーマ「30年後の大島に伝えよう」～大島の良さを未来に伝えるために、今自分ができていることを考えよう～ ・島ゼミ(個人課題研究)について(1～2名) ・学年ごと、ホタテ養殖体験学習について (1年生:背ばたき、耳吊り体験 2年生:水揚げ体験 3年生:親子調理実習) ・小田の浜 漂着物調査・海浜清掃について ・海洋講話「マグロ延縄漁船について」 等
発表の仕方	プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を使った発表

**洋野町立中野中学校**

発表者氏名	高屋敷 歩花、橋本 隆人、城下 廉、日向 美桜、浜久保 朋和
タイトル	洋野の海と山の魅力を生かした“ものづくり・人づくり・町づくり”を考えよう
発表の概要	本校2学年の海洋教育では、他地域(雫石町・滝沢市)を訪れ、その地域の環境、食、エネルギーの特徴的な取組を学んだことをもとに、自分たちが住む洋野町と比較し、“海と山のつながり”を視点とした地域の課題を探ってきた。その課題を解決するために、洋野の魅力を生かした「ものづくり・ひとづくり・町づくり」について地域の方々に学び、課題解決のために中学生として何ができるかを考え、提案することを目標に学習を進めている。
発表の仕方	パワーポイントを使った発表

**高校グループ 発表要旨一覧**  
**第7回海洋教育こどもサミット in 気仙沼 (オンライン大会)**

**宮城県気仙沼高等学校**

発表者氏名	鈴木 涼雅
タイトル	ポイ捨てを解決するために必要な考え方・行動とは
発表の概要	海洋プラスチックが私たち人間を含めた生物に与える影響が近年問題となっている。世界や日本ではプラスチックごみを減らすためにどのような取り組みをしているのかを調査し、どのような方法でポイ捨てを減らしていけるのかをまとめた。今後は気仙沼の地域性にあった対策を考えていきたい。
発表の仕方	PowerPointスライドを用いた口頭発表

発表者氏名	及川 澄恵
タイトル	海岸のごみ拾いに取り組む人を増やすにはどうしたらよいか
発表の概要	海洋ごみの削減に協力したいと思い、このテーマで研究することにした。この研究を通して、ごみ拾いに取り組む人が増え、海岸に漂着したごみが再び海に流れるのを防げば、海洋ごみ削減につながると考えた。そこで、アンケートを実施し、住んでいる場所や海への親しみが人々の海洋ごみ削減意識とどのように関係しているのかを調査した。今後は人々が取り組みやすいごみ拾いについて考え、研究を進めていきたい。
発表の仕方	PowerPointスライドを用いた口頭発表

発表者氏名	小松 龍聖
タイトル	循環資源を用いて有害赤潮問題に貢献できるか
発表の概要	この研究では循環資源を用いて有害赤潮であるシャトネラ属有害プランクトンを除去することを目的に始めた。循環資源である海水やホヤ殻等の貝殻を用いて有害赤潮除去剤である水酸化マグネシウムを作製したいと考え、その作製方法を探った。
発表の仕方	PowerPointスライドを用いた口頭発表

**宮城県気仙沼向洋高等学校**

発表者氏名	男席 美紅、渡邊 夕佳
タイトル	・海洋プラスチックからドリームキャッチャーをつくる ・ホヤ殻から紙をつくる ～SDGs達成を目指して～
発表の概要	・情報海洋科海洋類型では、海浜清掃および宮城丸航海実習時に海洋プラスチックの分布について調べている。集めたゴミからドリームキャッチャーを創り、その活動を通じ、海と関わる人としてこの問題にいかに関わるべきかについて考察を深めた。 ・産業経済科では、ホヤ殻の資源化について取り組んでいる。ホヤ殻から紙を創り、気仙沼の環境と産業、暮らしについて等の考察を深めた。 ・両研究とも、SDGs達成をテーマにしながら実施した。
発表の仕方	パワーポイントを用いたプレゼンテーション

**山形県立加茂水産高等学校**

発表者氏名	澤木 幹太 (海洋技術科3年)、藤井 詩紋 (海洋技術科3年)
タイトル	気候変動・地球温暖化と庄内の海
発表の概要	庄内の海と気候変動・地球温暖化との関係について調査し、SDGs 13温暖化防止策について考えることを目的としている。仮説として、「山形県の漁獲量減少は気候変動・地球温暖化によるものである」ことを立証したい。現在、地球全体・日本海・庄内の海の水温の変化の状況や山形県の漁獲状況及び魚種の変化と水温の関係についてまとめている。これから、地元で長年漁師をやっている方に海の変化について聞いてみたい。
発表の仕方	ポスター撮影

## 令和3年気仙沼市成人式について

「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます。」国民の祝日に関する法律の主旨に基づき、成人になった自覚とその重責を認識し、自主的かつ協力的に行動できる市民となることへの激励と祝福をこめて、式典並びに記念行事を行う。

1. 日 時 令和3年1月10日(日) 記念行事 午前11時00分～  
式 典 午前11時30分～
2. 会 場 気仙沼市民会館 大ホール
3. 主 催 気仙沼市
4. 主 管 気仙沼市教育委員会
5. 担 当 秘書広報課・総務部総務課・市民会館・公民館・生涯学習課
6. 内 容
  - (1) 記念行事 映像でみる“私たちの20年”
  - (2) 式 典
    - 1) 開式【司会進行】 (気仙沼地区B：男 面瀬中学校 吉田 龍)  
(気仙沼地区B：女 面瀬中学校 内海 清楓)
    - 2) 国歌斉唱
    - 3) 市民憲章の唱和 (大島地区：男 大島中学校 菊田 淳哉)  
(大島地区：女 大島中学校 小野寺 愛紘)
    - 4) 式 辞
    - 5) 新成人の言葉 (松岩地区：男 松岩中学校 熊谷 桂輔)  
(松岩地区：女 松岩中学校 千葉 彩夏)
    - 6) 記念品贈呈 (鹿折地区：男 鹿折中学校 松本 魁翔)  
(鹿折地区：女 鹿折中学校 齋藤 乃海)
    - 7) 祝 辞 (気仙沼市議会議長，衆議院議員)
    - 8) 閉 式
  - (3) 記念撮影 撮影順(予定)
    - 1)小泉地区 2)大谷地区 3)大島地区 4)新月地区
    - 5)階上地区 6)津谷地区 7)鹿折地区 8)条南地区
    - 9)唐桑地区 10)松岩地区 11)面瀬地区 12)気仙沼地区
7. 新成人案内者 平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者で、気仙沼市に在住している者及び平成28年3月に市内中学校または気仙沼支援学校を卒業した者で、出席を希望する者  
※平成28年3月市内中学校卒業生徒数 622名  
※令和2年成人式出席者数 561名(該当者665名)84.4%
8. 記念品 対象新成人に対し、記念品(鮫皮製名刺入れ)を贈呈する。
9. 来 賓 (予定)国会議員，県議会議員，市議会議員・副議長
10. その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、成人式の延期又は中止、会場や開催時間等を変更することがある。



令和3年気仙沼市成人式案内者名簿

区分	No	役職	氏名	備考
ステージ登壇者	1	気仙沼市議会議長	菅原 清喜	祝辞
	2	衆議院議員	小野寺 五典	祝辞
	3	宮城県議会議員	島山 和純	
	4	宮城県議会議員	守屋 守武	
	5	宮城県議会議員	境 恒春	
教育委員	6	教育委員 (教育長職務代理者)	熊谷 千寿	
	7	教育委員	菅野 潔	
	8	教育委員	熊谷 清子	
	9	教育委員	熊谷 正子	
	10	気仙沼市議会副議長	千葉 慶人	
	11	気仙沼市議会議員	今川 悟	
	12	気仙沼市議会議員	三浦 友幸	
	13	気仙沼市議会議員	菅原 雄治	
	14	気仙沼市議会議員	村上 伸子	
	15	気仙沼市議会議員	小野寺 修	
	16	気仙沼市議会議員	及川 善賢	
	17	気仙沼市議会議員	熊谷 一平	
	18	気仙沼市議会議員	菊田 篤	
	19	気仙沼市議会議員	秋山 善治郎	
市議会議員	20	気仙沼市議会議員 (公明)	村上 進	
	21	気仙沼市議会議員	佐藤 俊章	
	22	気仙沼市議会議員	三浦 由喜	
	23	気仙沼市議会議員	村上 佳市	
	24	気仙沼市議会議員	佐藤 健治	
	25	気仙沼市議会議員	臼井 真人	
	26	気仙沼市議会議員	熊谷 雅裕	
	27	気仙沼市議会議員	高橋 清男	
	28	気仙沼市議会議員 (社民)	村上 進	
	29	気仙沼市議会議員	小野寺 俊朗	

区分	No	役職	氏名	備考
市議会議員	30	気仙沼市議会議員	鈴木 高澄	
	31	気仙沼市議会議員	熊谷 伸一	
	32	気仙沼市議会議員	小山 和廣	
	33	気仙沼市文化協会会長	齋藤 敏	
	34	唐桑文化協会会長	千葉 芳	
	35	本吉町文化協会会長	佐藤 和文	
	36	一般社団法人 気仙沼市体育協会会長	境 由紀夫	
	37	気仙沼市青少年育成協議会会長	生駒 正博	
	38	気仙沼ユネスコ協会会長	荒木 英夫	
	39	気仙沼市老人クラブ連合会会長	島山 多喜夫	
	40	社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会会長	齊藤 典夫	
	41	気仙沼商工会議所会頭	菅原 昭彦	
	42	本吉唐桑商工会会長	高橋 和志	
	43	気仙沼警察署署長	笠松 真治	
	44	気仙沼市婦人会連絡協議会会長	鈴木 玲子	
	45	気仙沼市自治会長連絡協議会会長	遠藤 光夫	
	46	唐桑町自治会連絡協議会会長	千葉 凱	
	47	小泉地区振興会連絡協議会会長	小野寺 清春	
	48	津谷地区振興会連絡協議会会長	島山 篤朗	
49	大谷地区振興会連絡協議会会長	高橋 利夫		
教育機関代表	50	気仙沼教育事務所長	佐々木 利佳子	
	51	気仙沼市立学校長会会長	小松 英紀	
	52	宮城県気仙沼高等学校長	狩野 秀明	
	53	宮城県気仙沼向洋高等学校長	荒木 順	
	54	宮城県本吉響高等学校長	角田 泰幸	
	55	学校法人東陵学園 東陵高等学校長	上村 広務	
	56	宮城県立気仙沼支援学校長	西城 長一	
	57	気仙沼市立病院附属看護専門学校長	横田 憲一	
	58	社会教育委員議長	菊池 平夫	
関係団体長等				